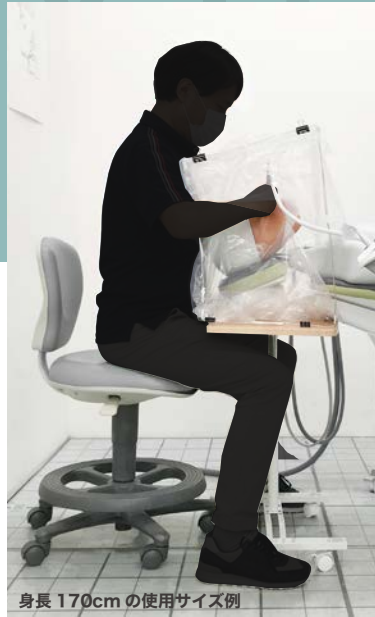


特集

感染対策アイデア提案

吉田製作所は、歯科医院様が新型コロナウイルス感染対策について独自に工夫されていることを受け、皆さまの選択肢の一つになればと、「簡易型飛沫対策シールド」を考案しましたので、ご紹介します。

※シールドのアイデアは、作りやすいように工夫いただき、ご使用にあたっては、患者さまの体調や安全に配慮し、(特に小児、高齢者、要介護者の使用)各歯科医院様でご判断をお願いいたします。



身長 170cm の使用サイズ例



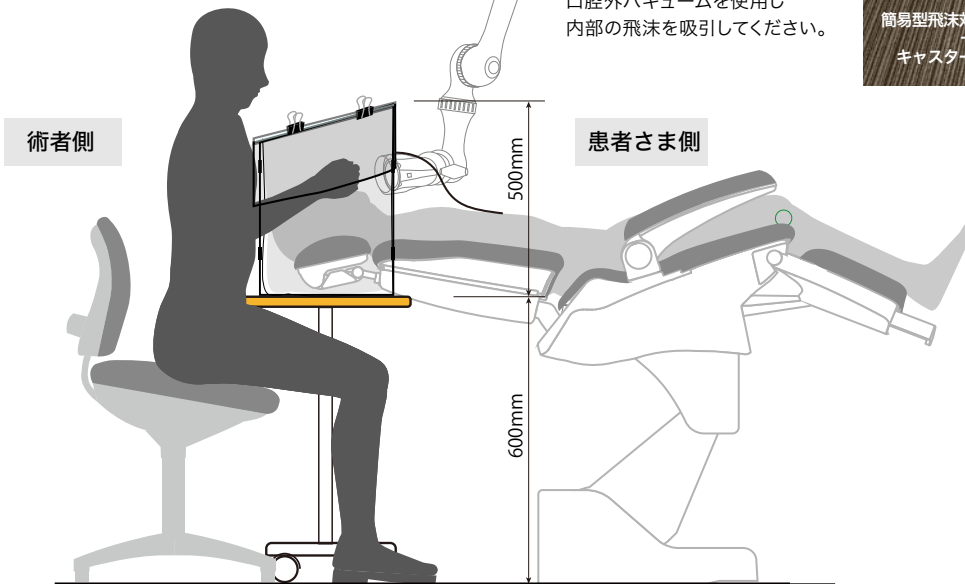
簡易型飛沫対策シールド
+
キャスターテーブル

身近な材料でできる

簡易型 飛沫対策シールド 作り方



使用イメージ



※作り方は身長170cmの術者が使用したサイズです。テーブル高さ、フレームの寸法は、術者の体型に合わせて調整してください。

材料

用意する道具

- ペンチ
- メジャー
- ハサミ
- マジックペン

材料 (1 つ分)

- ① スチール垂鉛メッキ針金 (直径 2 mm) 8 m
- ② ビニールテープ (針金接続用) 1 巻
- ③ ビニール袋 90 l (患者さまごとに 1 枚) 1 枚
- ④ 透明塩ビ板 (厚み 0.3mm)
(必要サイズ 510 × 380mm) 1 枚
- ⑤ ラップ (塩ビに貼り、患者さまごとに交換) 1 巻
- ⑥ ダブルクリップ (大) 8 個
- ⑦ キャスターテーブル 1 台

⑦ キャスターテーブル 参考サイズ



特集

感染対策アイデア提案

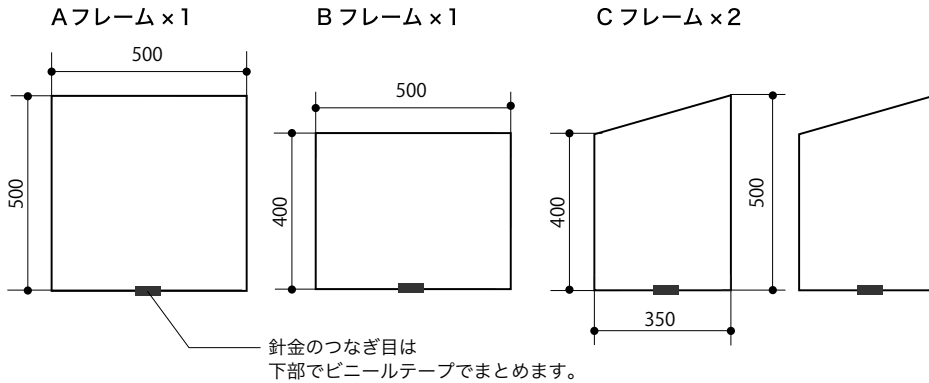


身近な材料でできる

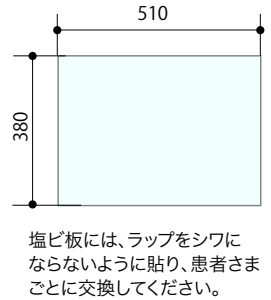
簡易型 飛沫対策シールド 作り方

事前の準備 ※フレームの寸法は、術者の体型に合わせて調整してください。

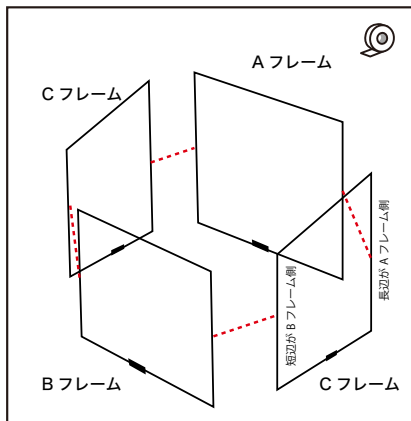
針金を折り曲げ、シールドフレームのパーツを製作します。



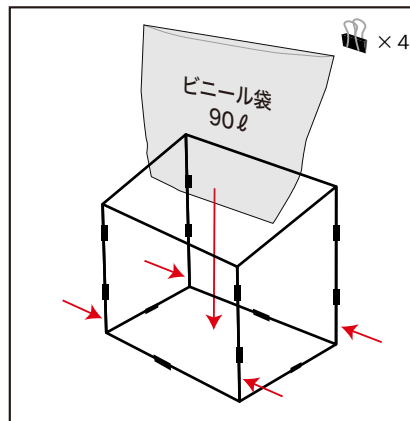
透明塩ビ板をサイズにカットし、ラップを貼ってください。



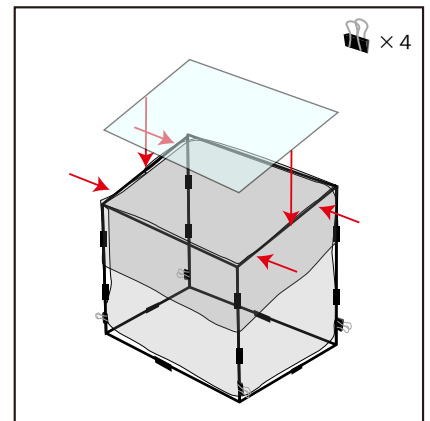
組み立てかた



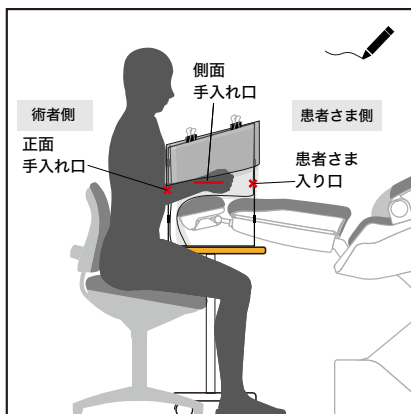
シールドフレームを組み立てます。針金フレームを組み合わせ、ビニールテープで留めます。



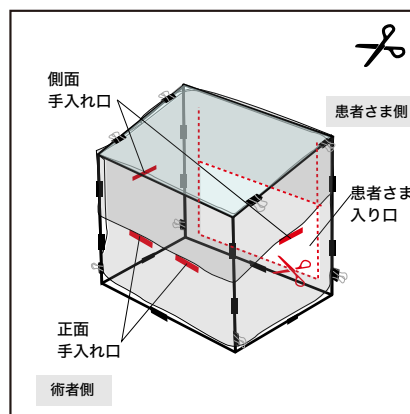
組み立てたシールドフレームに透明ビニール袋を入れ、フレームからはみ出た部分は外側へ折り返します。フレームとビニール袋をクリップで留めます。



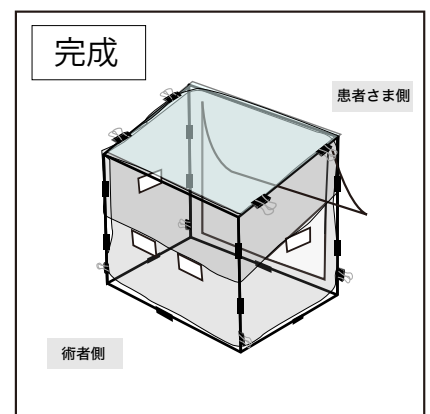
透明塩ビ板（ラップで覆った面を内側に向ける）を上部に被せ、フレームと塩ビ板をクリップで留めます。



術者が手を入れる位置、患者さまが入る開口部の位置を確認します。組み立てたシールドを、キャスターテーブルに乗せ、診療ポジションにしたユニットの枕に入れ込み、切り込み位置に印をつけます。



印をつけたビニール袋をカットします。患者さま入り口は、赤点線のようにコの字にカットし、下部分を切り取ります。



簡易型飛沫対策シールドの完成です。患者さまごとにビニール袋と、塩ビ板に貼ったラップを交換して使用ください。患者さまの体調に注意してご使用ください。